

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

IMAGINE
ROTARY

2022-2023年度
国際ロータリーテーマ

大きな夢をかなえた
ロータリーを想像して

Rotary International District 2670
2022-2023 Governor Office
Takamatsu-City, Kagawa Pref.

RI第2670地区 2022-2023年度
ガバナー 八田 光

Rotary 

2023

2

vol.8

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
ガバナー月信 2
月号



レオニート・チシコフ「月への道」
Photo: Keizo Kioku
※作品の公開は終了しています。

瀬戸内国際芸術祭2022春会期に香川県坂出市に展示された
インスタレーション作品。

月をモチーフにした映像、写真、オブジェが沙弥島の旧小・中
学校に展示され、校庭には展望台にもなる三日月のオブジェが展
示され、三日月からは、瀬戸大橋に隣接する島「与島」を望む。
与島の浦城バス停では、月に向かう宇宙飛行士が出発を待ち、
2022年10月に国の重要文化財に指定された「鍋島灯台」にも宇
宙をイメージしたインスタレーション作品が展示された。

C O N T E N T S

目 次

ガバナー挨拶	「平和構築と紛争予防月間」に寄せて	4P
地区だより	①ロータリーの叡智を「友」アーカイブで ②2023-2024年度 第1回受入れ学生・第2回派遣予定学生オリエンテーション	6P 7P
クラブだより	①子ども達が国際感覚を身につける為の交流支援 (高松東RC) ②新居浜ロータリークラブ70周年記念事業 (新居浜RC)	8P 9P
ガバナー公式訪問報告	高知RC/徳島RC/高松北RC	10P
老タリアンのツイート	職業奉仕	12P
12月度出席報告		13P
受賞者一覧		14P
2021-2022年度 地区概況の訂正		15P



● ガバナー挨拶

「平和構築と紛争予防月間」に寄せて



国際ロータリー第2670地区
2022-2023年度 ガバナー

八田 光

2月は、「平和構築と紛争予防月間」です。

スティーブン・ジョブスにも、時空を超えて影響を与えたバックミンスター・フラーは、地球を「宇宙船地球号 (Spaceship Earth)」と名付け、地球上の資源の有限性や、資源の適切な使用について語る時に使いました。また、時折安全保障についても使い、各国の民は国という束縛はあれど皆同じ「宇宙船地球号」の乗組員であるから、乗組員間 (国家間) の争いは望まれない、と言いました。

いつの時代においても、争いは望まれておりません。

ロータリーも争いは望んでいません。

しかし、身の回りにも広い意味での紛争は、存在しています。人が2人いて、そこに意見の相違や価値観の対立があれば、それは紛争となります。それと世界で起きている武力紛争とどこが違うのでしょうか？ 何らかのもめごとや意見の相違が起きた時、私たちは基本的に話し合いの場を持ち、万が一相手が暴力や武力に訴えた場合には、取り締まるための法律に基づいて逮捕などの措置により対処することが当たり前の社会に生きています。しかし10年、20年と長期間内戦状態が継続する世界の紛争地においては、武力や暴力による対処が長らく続いており、それを普通のこととして成長した若者にとっては、結局力づくでねじ伏せる方が損をしない、勝ち組だとする考え方が根付いてしまいます。

大国間の利権争いなどにおいても、それぞれの国の民に相手の民とフランクな交流を経験できなくさせ、やがて育ってくる若者にとっては最初から対立の状況が通常である感覚になります。

その他にも、青少年をむしばむ環境はたくさんあります。

このような状況を、私たちロータリーは絶対に受け入れたくありません。ロータリーは、異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備え

た人材の育成を通じて平和な世界づくりに多大な貢献をしています。

人道的組織として、平和はロータリーの使命の礎となるものです。私たちは、地域社会での平和構築のために人びとが協力すれば、その変化が世界的な影響を生むと信じています。

ロータリー会員は、奉仕プロジェクトや平和フェロー・奨学生への支援を通じて、貧困、差別、民族間の衝突、教育機会の欠如、リソースの不平等な配分といった紛争の根底にある問題に取り組むために行動を起こしています。

ロータリーは、新たな課題に応えるために平和構築へのコミットメントを高めています。ロータリーが未来にインパクトをもたらすためには何ができるか、持続可能な変化を目指すロータリーのビジョン声明をどのように実現できるか、といった課題に取り組むべく、ロータリーは「平和構築」の定義をさらに広げ、より多くの人々が平和構築に参加できる方法を見つけることで、団結と幅広い参画による平和という概念を行動に移すさまざまなアプローチを取っています。

平和構築のための行動は何かと考えると、地球規模においては7つの重点分野は直接的ではないかもしれないが、すべてが平和構築に貢献できる活動だといえます。

◆七つの重点分野

• 平和構築と紛争予防

紛争の予防・仲裁や難民支援に当たる人材を育て、異文化間の交流と対話を促すことで、平和な世界づくりを目指しています。

• 疾病予防と治療

命を脅かす病気（ポリオ、エイズ、マラリアなど）について正しい知識を伝え、発展途上国で低額ま

たは無料の医療を提供するなどして、病気の予防と治療を支援しています。

• 水と衛生

「ただ井戸を掘って終わり」ではなく、きれいな水や衛生設備を活用して長期的な地域発展が実現できるよう、包括的な支援を行っています。

• 母子の健康

世界では毎年、5歳未満の子ども600万人近くが、栄養失調、不健康、不衛生のために命を落としています。ロータリーは、質の高い医療によって母と子の健康を守っています。

• 基本的教育と識字率向上

世界で読み書きのできない人（15歳以上）は、7億7500万人。ロータリーは、より良い学校をつくり、教育における性差別をなくし、成人への識字教育に力を注いでいます。

• 地域社会の経済発展

生産的で十分な収入をもたらす雇用の機会の創出を通じて人びとの自立を促し、発展途上地域の（特に女性による）起業を応援しながら、リーダーとなる人材を育てています。

• 環境

ロータリー会員は、プロジェクトを立ち上げ、つなかりを生かして政策や方針の変更を促し、未来を形づくる計画を立てます。環境問題においても同じアプローチで取り組んでいます。

**ここで再びバックミンスター・フラーの言葉
「地球規模で考え、地域規模で行動せよ」
が思い出されます。さあ、行動しましょう!**



● 地区だより①

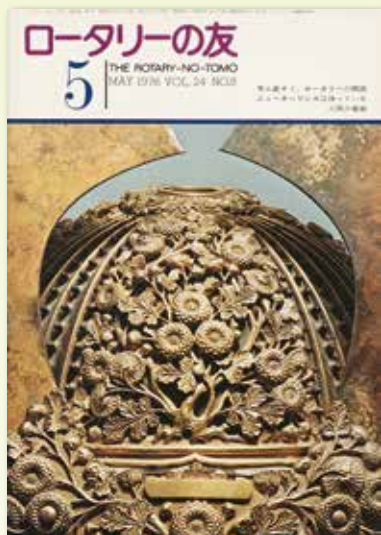
ロータリーの叡智を「友」アーカイブで

第2670地区ロータリーの友地区代表委員

真屋正明 (高松北RC)

ロータリーの友は2023年1月で創刊70周年を迎えました。記念して今年度よりアーカイブの利用ができることになりました。数年間に及ぶ準備と資金を投入して漸く完成しております。創刊以来の「友」840冊を検索して読むことが可能になったのです。ロータリーの友は情報の宝庫であり、ロータリーを知るためには必須の機関雑誌です。クラブ会員が真のロータリアンになるための最良の環境が整ったことになります。ロータリーの歴史を知り、積み重ねられた叡智を学ぶことができます。それを職場や家庭や地域や世界で活かすことが私達の役割なのです。会長・幹事そして雑誌委員長はロータリアンの模範たるべく率先してロータリーの叡智を学んでいただきたいところです。

ここに「鏡の前のロータリアン」と題する故三宅徳三郎(高松RC)ガバナーの記事を抜粋しております。ロータリアンの皆様は「ロータリーの友」を検索して「アーカイブ」をクリックし、ID番号とパスワードを入力して「友」1976年5月号を検索し是非とも全文をお読みください。尚、IDとパスワードは友事務所からの請求書に記載(半期毎)されておりますのでクラブ事務局にご確認下さい。



「鏡の前のロータリアン」

第367地区(徳島・愛媛・高知・香川)

ガバナー **三宅徳三郎**

私は外科医として鏡の前のそれでありたいと同様、鏡の前のロータリアンでありたいと念願してすでに30有余年、自分独りの理想として誰にも話さず胸に収めてきたのであるが、13年前地区ガバナーとなり、今回また二度目の勤めをするに当たって、今度の巡礼も含めて機会あるごとに同志に語ったのは、一人でも多くの「鏡の前のロータリアン」の出現を祈念して止まないからである。

(ロータリーの友1976年5月号から抜粋)

● 地区だより②



2023-2024年度 第1回受入れ学生・ 第2回派遣予定学生オリエンテーション

長期交換委員会

七條公光子 (高松北RC)

2023年1月29日、観音寺商工会議所にて、第2回目の長期交換派遣予定学生オリエンテーションが開催されました。第2670地区の八田 光ガバナー、吉岡宏美ガバナーエレクト、前田康人次期地区代表幹事、篠田 日出海国際奉仕委員長、瀬野長久長期交換小委員会委員長、2022-2023年度地区長期交換委員、2023-2024年度派遣予定学生4名および保護者の方々、2023-2024年度受入れ学生1名の出席のもとに行われました。

八田ガバナーの開会の挨拶に続き、今治南RCの受入れ学生である9790地区、オーストラリアのメルボルンから来日したばかりのハンナ (Hannah Frances Phillips) が流暢な日本語と英語で自己紹介をいたしました。

そして、瀬野委員長の指導の下、申請書類の確認、オリエンテーションが行われました。交換中のルールと注意事項を見ていきながら、自己アピールの重要性、禁忌4D (Date, Drive, Drink, Drug)、日本の勉強はしないなど、現地で遭遇しうる事柄を多数例にとって具体的な指導をいただいたことで、学生も保護者も、6カ月先の交換がぐっと身近なものに感じられるようになったと思われます。ロータリー交換学生として、親善大使として、国際人としての心構えや、ホストファミリーと良い関係を築くことの重要性と注意点にも時間が割かれました。また、交換生としての目的や、それを達成するために必要なこと、そのために自分に足りないものを書き出し、一分間でプレゼンテーションするというワークも課せられ、学生は突然の課題にも拘らずしっかりと自分の考えをまとめて伝えることができ、彼らの意識の高さと熱意が感じられました。休憩中にはハンナと交流する場面も見られ、交換はすでに始まっている感がありました。

最後に吉岡ガバナーエレクトより激励の言葉が送られ、閉会いたしました。次回は2月26日、観音寺グランドホテルにて予定されております。高松北RCでは初めての長期交換事業で、暗中を進む思いでしたが、学生以上にご指導を頂いてここまで来られていることに感謝いたしております。出席するごとに学生の意欲がより強く感じられ、その夢を叶えて人生の糧とし、次世代につなげられるよう、助力してまいります。



● クラブだより①

子ども達が国際感覚を身につける為の交流支援



開催日 2023年1月19日(木) 13:10～
会場 高松市立円座小学校体育館
主催 高松東ロータリークラブ
後援 円座地区社会福祉協議会

高松東ロータリークラブは、ロータリー財団の地区補助金事業として、子ども達がこれからのグローバル化する社会に適応できる為の支援事業を計画いたしました。それは円座小学校の協力による未来の日本を担う「子ども達に国際感覚を身につける為の交流支援」とし、多くの国の外国人と直接接する交流会を企画したのです。

ロータリークラブには米山奨学制という組織があります。その米山奨学生に、機会あれば地域に溶け込んでもらいたい意味も含んで今回協力をお願いいたしました。小学校の教師数名、小学6年生103名、県内の7名の米山奨学生とクラブ会員の経営する外国語学校の講師2名、そして高松東RCの会員23名、米山奨学生のカウンセラー7名、地元社会福祉協議会の役員10名、この約150名が今回の参加メンバーです。

プログラムは全体として休憩を挟んでおよそ2時間、その前半は外国人9名がプロジェクターを使用し、三分スピーチによる自国紹介、後半は外国人を囲んでのフリートークとしました。自国紹介は全員が日本語で簡潔にかつ重要ポイントを含んで発表してもらいました。外国人が自分の祖国に誇りを持ち、是非機会があれば自分の国に来てくださいと誘う言葉に、今後成長した子ども達はこの言葉を思い出し、行動をすることを期待せずにはられません。

後半は外国人1名と12名前後の子ども達とが、9グループに分かれて、フリートークです。当初は各グループ、静かなスタートでしたが、徐々に慣れてきて自由に質問や、会話ができるようになりました。終了近くになると、各グループが子ども達は外国人に近寄り思い思いに話しかけるようになって大いに盛り上がったのです。

まとめとして、今回の事業は第2670地区では前例のないもので、本年度のRIテーマ「イマジン・ロータリー」の国際平和やダイバーシティ、SDGsの目的にも沿ったロータリーと地域を結ぶ内容であると総括しました。
(坂井幸博 高松東RC)



● クラブだより②

新居浜ロータリークラブ 70周年記念事業



令和4年12月17日、リーガロイヤルホテル新居浜において、新居浜ロータリークラブ創立70周年記念式典及び祝賀会を開催いたしました。ご来賓、また人数は制限しましたが県内クラブの皆様にもご参加いただき、誠にありがとうございました。

約1年前の1月頃より実行委員会を開催し、コロナ禍でもあるため、松尾実行委員長の方針で記念講演は開催しないということになりました。講演に代わり記念事業を行うことになりましたが、関係各位の尽力をいただき新居浜駅構内コンコースに太鼓台をあしらった時計台を設置することができました。新居浜市民やご来訪者の方々に親しんでいただきたいと願います。併せてロータリー財団、米山記念奨学会への寄付も行いました。

記念式典委員会、祝宴委員会、記念事業委員会、当日の呈茶を担当した会場委員会、全ての委員会の調整や当日スケジュール等を担当した総務委員会、皆様にこれからお送りする記念誌作成の記念誌委員会が、小野会長と松尾実行委員長を中心に団結できたと思います。今後も75周年、80周年に向け新居浜ロータリーらしさを追求したいと思います。

皆様、本当にありがとうございました。



● ガバナー公式訪問報告

高知ロータリークラブ

12月6日(火) 三翠園



● クラブ紹介 会長：杉本芙美子 幹事：佐竹新市

高知ロータリークラブは、1937年10月2日会員数24名で創立され、同29日に国際ロータリーより日本で33番目クラブと承認されました。

2022年11月現在会員総数92名(女性会員13名)、入会歴57年、54年で90歳を超えられた今も、例会に出席されているシニア会員がおります。

クラブ独自の奉仕活動として、地球33番地環境保全活動。燦燦基金による地元の大学生への支援事業をおこなっています。

● 随行者コメント

本年創立85周年を迎えられた高知ロータリークラブを八田ガバナー、門田高知第II分区ガバナー補佐と訪問しました。

県庁所在地のRCであり、会員には多くの支店長様が所属している関係で定期的な移動もありますが、この3年間で30名の新入会員を迎えて、現在93名の会員数で四国一となっています。また、杉本会長様初め13名の女性会員さんが在籍している事にも驚きました。多様な会員さんもおられ、定例会での合唱やその後のBGMでは会員さんのピアノの生演奏付でした。

会長幹事会では、奨学金で地元の方に4年間支援するという地に足の付いた活動をしておられる事、またガバナーからはCLPやロータリー賞、またロータリー財団資金の有効な利用について意見が交わされました。どちらにしても在籍年数57年という会員や20年以上在籍会員も30名近くいるという、とても「重し」が効いた中にも活発な運営をされているように感じました。

(新名孝司)



徳島ロータリークラブ

12月14日(水) 徳島グランヴィリオホテル



● クラブ紹介 会長：後藤浩久 幹事：友成 勝

徳島ロータリークラブは、1935年創立、今年で88年目になります。現在の会員数は83名(女性会員6名)です。

過去に5名のガバナーを輩出しており、来年度も吉岡ガバナー輩出することになっております。

後藤浩久会長は、今年度、吉岡ガバナー年度の大事な準備期間と位置付け全会員が一丸となって後押しすることが重要になるとしています。

来年は地区大会開催、再来年は90周年としばらく忙しくなりますが、頑張っていくとのことです。

● 随行者コメント

次年度、ガバナーを輩出される徳島ロータリークラブに73番目となるホームクラブ以外としては最後の公式訪問に八田ガバナーと田中ガバナー補佐の3人で訪問して参りました。

当日になり、同行予定の副代表幹事の体調不良があり八田ガバナーと2人の道中になった訳ですが、コロナ感染第8波が地区内各県でも押し寄せておる中、何とかギリギリのタイミングで最後の公式訪問を終わることが出来「ホッ」としております。

会長・幹事懇談会には山田戒乗パストガバナーも参加して頂き徳島ロータリークラブの歴史についてのお話などをお聞きました。その中で徳島ロータリークラブに受継がれている戦前からの鐘のことは歴史の重みを感じることが出来、何よりもその鐘は今もなお誇り高き音色を奏でて例会時の規律を保っているように感じました。

最後に次年度の吉岡ガバナーを盛り上げて地区の運営をしていくことになる徳島ロータリークラブの皆様、次年度はどうぞよろしくお願いたします。

(丸井一馬)



● ガバナー公式訪問報告

高松北ロータリークラブ

12月19日(月) JRホテルクレメント高松

● 八田ガバナーを迎えて 会長：橋本 登 幹事：久本義展

去る12月19日、本年度の最後を飾るガバナー公式訪問が、輩出クラブである高松北ロータリークラブにて行われました。ちょうどクリスマス家族例会の日で、八田ガバナー、榎塚香川第一分区ガバナー補佐、丸井代表幹事をご家族の皆様と共に華やいだ雰囲気の中でお迎えすることが出来、たいへんうれしく存じております。本年度RIの基本精神でもあるDEIの大切さを強調された八田ガバナーのスピーチに心より感銘を受けました。

改めまして、第2670地区74クラブを巡る長丁場の公式訪問の旅、たいへんお疲れ様でした。八田ガバナーを初め、関係のスタッフや随行をして頂いた弊クラブの会員の皆様に衷心より御礼を申し上げます。

● 随行者コメント

いよいよホームクラブ、高松北ロータリークラブに公式訪問に八田ガバナー、榎塚正富ガバナー補佐と3人で訪問しました。他のクラブ同様に会長・幹事懇談会も行い、入場は今までのガバナーをお迎えした時と同じようにスタンディングオベーションで迎えて頂きました。

かなりの照れを感じながらの入場となりましたが、八田ガバナーはいかがだったのでしょうか？

ホームクラブ訪問で「ホッ」とし、2022年最後の例会という事でも「ホッ」とし7月からの公式訪問が終わったことでも「ホッ」とし、この日の夜間例会のお酒はととても美味しかったと感じました。

高松北ロータリークラブの会員の皆様、上半期のご協力に大変感謝いたします。

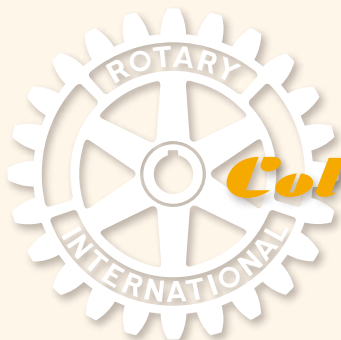
残された半年は地区大会の成功に向けて、より一層のご尽力をお願いいたします。

(丸井一馬)



● ローター歴66年 老タリアンのツイート

職業奉仕



Column vol.8



パストガバナー **太田英章** (高松南RC)

職業奉仕とはVocational serviceの日本語訳で、元来、日本語に職業奉仕という言葉はありません。したがって、多くの日本ロータリアンがその意味がよく判らなくて、混乱しているようであります。Vocaとは、ラテン語でロネッサンス以前のキリスト教世界に於いては、職業は世襲制で、士農工商のような身分制度が厳然と存在しました。Profession即ち、聖なる職業は、身分が上、Business即ち、商人や金貸しは賤しい下の身分でありました。この何百年も前の古い価値観が20世紀のアメリカ、ロータリーにも潜在意識として残っていたので、ロータリーでは職業の事を、2つの価値の異なる単語を並べて「business and profession」と言っているのです。

Businessは、営利を目的とする商業、金儲けであります。Professionは、科学や学問の分野で、専門的知識を必要とする職業で、僧侶や学者や医者など、専ら民衆を指導し、救済する金儲けとは無縁な職業でありました。しかし乍ら、ロータリーでは、すべての有用な職業の価値を認め、社会に奉仕する機会としての職業に権威あらしめようとしているのです。

ロータリアン一人一人が、各々その職業を通して日々研鑽し、道徳的に向上する、そしてその自己改善を社会改善につなげて行く、この図式が職業奉仕であります。従って、一般的に奉仕というと、その受益者は、ロータリアン以外の人々であります。職業奉仕の受益者はロータリアン自身であります。

● 12月度出席報告

分区	クラブ	出席率(%)	12月末 会員数	首比増減	12月末 女性会員数	例会数
徳島第I分区 10 RC	徳島	94.78	83	8	5	3
	徳島東	66.14	59	0	2	4
	徳島北	84.52	31	2	6	3
	徳島プリンス	81.82	78	0	11	4
	阿南	54.04	54	2	5	4
	阿南南	77.08	50	0	0	4
	小松島	83.75	20	2	0	4
	小松島南	57.97	23	0	0	3
	阿南中央	74.50	20	0	4	3
	徳島眉山	86.11	13	0	1	3
徳島第II分区 11 RC	阿波池田	58.33	42	0	0	4
	御所	83.12	25	-1	4	3
	鴨島	87.12	46	0	4	3
	鳴門	77.27	45	1	3	3
	鳴門中央	94.29	37	0	2	3
	徳島中央	78.21	26	1	4	3
	徳島南	61.49	36	-1	3	4
	徳島西	83.87	33	1	4	4
	脇町	77.91	43	1	1	4
	阿波徳島	71.74	23	0	1	4
美馬	69.44	25	0	2	3	

分区	クラブ	出席率(%)	12月末 会員数	首比増減	12月末 女性会員数	例会数
高知第I分区 7 RC	安芸	89.09	20	0	2	3
	中芸	65.38	13	0	0	2
	香長	82.14	10	0	0	3
	高知中央	65.22	45	-1	0	3
	高知東	100.00	54	1	7	3
	高知南	89.32	82	-1	12	4
	高知ロイヤル	86.57	23	-1	3	3
	高知	84.34	92	3	13	3
高知第II分区 8 RC	高知西	86.19	73	-1	2	3
	高知北	81.93	32	0	3	3
	中村	82.35	56	3	7	4
	四万十	75.76	12	0	2	3
	仁淀	64.71	18	-1	2	3
	宿毛	58.21	26	-1	0	3
須崎	66.67	14	-2	0	2	

分区	クラブ	出席率(%)	12月末 会員数	首比増減	12月末 女性会員数	例会数
愛媛第I分区 9 RC	今治	97.27	54	1	3	4
	今治北	89.61	22	0	1	4
	今治南	98.74	66	-1	0	4
	伊予三島	95.27	37	2	1	4
	川之江	95.33	50	1	0	3
	新居浜	93.87	70	3	2	4
	新居浜南	90.90	16	2	3	3
	西条	80.00	24	-2	0	4
	東予	95.56	31	3	1	3
愛媛第II分区 11 RC	北条	74.19	11	0	0	3
	伊予	92.48	35	-1	0	4
	道後	81.63	25	2	2	4
	松山	66.31	68	0	4	3
	松山東	62.82	26	1	0	3
	松山北	82.50	27	0	0	3
	松山南	91.67	55	3	6	3
	松山西	75.38	23	0	2	3
	大洲	79.29	36	-1	4	4
	宇和島	80.70	19	-1	1	3
八幡浜	88.06	24	0	0	3	

分区	クラブ	出席率(%)	12月末 会員数	首比増減	12月末 女性会員数	例会数
香川第I分区 10 RC	さぬき	64.47	19	1	0	4
	東かがわ	91.30	24	0	3	3
	小豆島	89.71	34	5	2	4
	高松	100.00	89	2	8	3
	高松中央	89.42	37	0	0	3
	高松グリーン	91.37	36	-1	3	4
	高松東	100.00	47	2	4	3
	高松北	84.02	80	1	7	3
	高松西	66.27	42	-5	2	4
	高松南	79.47	60	3	3	3
香川第II分区 8 RC	観音寺	92.77	42	0	4	4
	観音寺東	86.42	28	1	5	3
	琴平	94.23	14	0	0	4
	丸亀	77.04	58	-1	4	4
	丸亀東	80.49	41	1	3	3
	坂出	96.15	40	2	1	4
	坂出東	86.89	75	0	11	3
	善通寺	90.72	35	0	0	3

	出席率(%)	12月末 会員数	首比増減	12月末 女性会員数
74RC 合計	81.81	2,902	38	205

受賞者一覧

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



黒河一司
東予RC



米田 敬
高松東RC



花房 伸
高松グリーンRC

ポール・ハリス・フェロー



尾崎 勝
高松東RC



十河建志
高松グリーンRC

米山功労者
メジャードナー



秋山佳弘
丸亀東RC

マルチプル米山功労者



井上孝志
高知西RC



斉藤嘉一
高知西RC



横井 実
高松グリーンRC



石井聖剛
高松グリーンRC



佐藤義則
高松グリーンRC

米山功労者



岡田祥司
高知西RC

物故会員

ご冥福をお祈り申し上げます



佐野孝次 (享年89歳)
高松西RC
2022年10月30日 逝去

2021-2022 年度国際ロータリー第 2670 地区 「地区概況」

訂正のお知らせとお詫び

2021-2022 年度 地区代表幹事 大塚和助

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年度は格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2021-22 年度ガバナー事務所より配布いたしました「2021-2022 年度国際ロータリー第 2670 地区地区概況」の 51 ページのロータリー米山記念奨学会寄付金納入明細表（クラブ別）の一覧表に誤りがございました。つきましては下記のとおり訂正させていただきます。

該当するクラブ様へは、ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

正しい寄付金納入明細表につきましては、既に各クラブへは送付しておりますが、改めてガバナー月信紙面をお借りいたしまして訂正のお知らせとお詫びを申し上げます。

謹白

《正誤表》 2021-2022 年度 地区概況 51 ページ

[誤]

分区	クラブ名	普通寄付 単 価	2021年7月1日～2022年6月30日			会員数 (1月1日)	一人当り 平均寄付額	過去累計額		合 計
			普通寄付	特別寄付	今期合計			普通寄付金	特別寄付金	
高知第I分区 (7RC)	安 芸	6,000	60,000	100,000	160,000	10	16,000	2,770,500	7,532,000	10,302,500
	中 芸	8,000	192,000	100,000	292,000	24	12,166	2,753,000	3,341,450	6,094,450
	香 長	4,000	76,000	0	76,000	19	4,000	5,855,400	6,422,000	12,277,400
	高知中央	6,000	318,000	410,000	728,000	54	13,481	9,716,850	14,920,000	24,636,850
	高知東	0	0	0	0	13	0	1,588,150	570,000	2,158,150
	高知南	6,000	282,000	500,000	782,000	47	16,638	6,651,500	16,289,000	22,940,500
	高知ロイヤル	7,000	595,000	905,000	1,500,000	85	17,647	13,890,900	18,379,200	32,270,100
	高知西	5,000	450,000	1,000,000	1,450,000	76	19,078	11,941,500	20,723,697	32,665,197

[正]

分区	クラブ名	普通寄付 単 価	2021年7月1日～2022年6月30日			会員数 (1月1日)	一人当り 平均寄付額	過去累計額		合 計
			普通寄付	特別寄付	今期合計			普通寄付金	特別寄付金	
高知第I分区 (7RC)	安 芸	4,000	76,000	0	76,000	19	4,000	5,855,400	6,422,000	12,277,400
	中 芸	0	0	0	0	13	0	1,588,150	570,000	2,158,150
	香 長	6,000	60,000	100,000	160,000	10	16,000	2,770,500	7,532,000	10,302,500
	高知中央	6,000	282,000	500,000	782,000	47	16,638	6,651,500	16,289,000	22,940,500
	高知東	6,000	318,000	410,000	728,000	54	13,481	9,716,850	14,920,000	24,636,850
	高知南	7,000	595,000	905,000	1,500,000	85	17,647	13,890,900	18,379,200	32,270,100
	高知ロイヤル	8,000	192,000	100,000	292,000	24	12,166	2,753,000	3,341,450	6,094,450
	高知西	6,000	450,000	1,000,000	1,450,000	76	19,078	11,941,500	20,723,697	32,665,197



ガバナー月信編集委員会からのお知らせ

今年度よりガバナー月信は印刷冊子の配布に代えてネット配信となります。

ガバナー事務所HPにアクセスしていただき月信の閲覧及びダウンロードをお願いします。又、ロータリアン随想をロータリー歴65年のPG太田英章先輩に御願いしております。12回にわたり連載の予定です。尚 ガバナー事務所HPアドレスは次の通りです。

<http://www.rid2670gov22-23.jp>

記事投稿のお願い

ガバナー月信は、地区ガバナー事務所と会員の皆様との情報共有ツールの一つです。日頃の奉仕活動等を以下メールアドレスへお気軽にお寄せください。

[E-mail:monthly@rid2670gov22-23.jp](mailto:monthly@rid2670gov22-23.jp)

I N F O R M A T I O N

● 物故会員の連絡について

クラブ名、氏名、逝去年月日と顔写真
(お名前がわかるようにお願いします)をお送りください。

● 出席報告について

毎月最終例会後、翌月15日までにガバナー事務所へメール
またはFAXしてください。

● 受賞者紹介について

ホームページ上の受賞者一覧にクラブ名、氏名を入力の上、
写真も氏名がわかるようにお送りください。

● クラブの行事や活動状況などについて

原稿と、出来るだけ写真を添えてメールでお送りください。

送り先は、ガバナー事務所まで

国際ロータリー第2670地区 ガバナー事務所

E-mail : info@rid2670gov22-23.jp

国際ロータリー第2670地区ガバナー月信編集委員会 地区代表幹事：丸井 一馬 / 担当幹事：真屋 正明

〒761-8071 香川県坂高松市伏石町2034-1 TEL. 087-802-8045 FAX. 087-802-8046 E-mail : monthly@rid2670gov22-23.jp

